



25年度 第3号  
通巻1813号

発行所:  
高知県教職員組合  
〒780-0850  
高知市丸ノ内2-1-10  
TEL088-822-4135  
FAX088-823-2355

全教職員  
配布  
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



# 平和への歩み、力強く！

## 核廃絶を願い、今年も行進

今年、被爆80年・戦争終結80年。昨年、被団協にノーベル平和賞が授与されたこともあり、「核兵器廃絶」「戦争反対」

の声は、一層強まっています。そんな中、原水爆禁止・核兵器廃絶を願って、今年も平和行進が行われました。



四国の平和行進は、5月4日(日)に高知県宿毛市と愛媛県愛南町の境目でスタート(写真上)。愛媛県コースは、愛南町から北へ向かいました。高知県コースは、その日、宿毛市内を行進。そこから東へ、県内を横断する形で行進を続けました。

高知県教組では、5月4日のスタート集会と宿毛市内の行進には、幡多教組と一緒に、また5月18日の引き継ぎ集会(写真下)と東洋町の行進には安芸教組と一緒に参加しました。県内各



地で行われた行進にも、様々な地元教組の代表者等が参加しています。県内各地で集めた「平和の願いを書いたペナント」は、今年も300枚を超えました(写真下)。「一人ひとりの願いを集めて、大きな声に」、まさにそれを実感するペナントの多さでした。

なお、列島各地の行進の終結は、8月



### 広島へのバスツアー 8/4(月)~8/6(水) の二泊三日

★費用 5万1600円  
バス代 15000円  
宿泊 36600円

★問い合わせ先

- ①高知県原水協  
088-875-3917
  - ②事務局・松繁さん  
090-5271-1208
- \*7/11 締切

### 「2025ピースウェーブinこうち」も行われます。

平和七夕や講演会、戦争と平和を考える資料展、反核平和コンサートなど多彩な催しが行われます。詳しい内容は、今回、教育通信と同送したチラシをご覧ください。戦後80年の今年、ぜひともあなたも平和への行動をご一緒に。

### お城下

長時間過密労働が続く「ブツラク職場」という表現がされている学校現場▼その実態を改善するための給特法「改正」の審議中、あべ文科大臣から放たれた次の答弁▼公立学校の教師が、所定の時間外にいわゆる超勤4項目に該当する時間外勤務命令に基づき業務を行う時間は労働基準法の労働基準時間に該当いたしますが、時間外勤務命令によらず業務(\*)を行う時間は労働基準法上の労働時間にはあたらないものと考えております▼(\*)教材研究や部活動、様々な書類・報告書作りなどを想定▼自分の目と耳を疑いました。本気で言っているのかと▼空き時間もほとんどなく仕事に追われ、ようやく授業準備が出来ると思うときはすでに勤務時間外。教職員は長時間労働でヘトヘト。その実態を改善すべく「改正」の審議をしているのではないのか▼問題多数の給特法「改正」(3面参照)。怒り!(和)

# 学びの輪、各地で広がる

## 高岡で、高知市で

### センセイの学校in高岡 ベテランのセンセイに学ぼう！



高岡教組では、昨年度に引き続き、今年度も5月24日に「センセイの学校in高岡」を行いました。組合未加入の若い先生方4名を含め、12名の参加がありました。まずは参加者が揃って自己紹介をした後、全体で学級で使えるゲームや算数

ゲームを行いました。三チームに分かれてゲームに没頭するうちに緊張もほぐれ、話がしやすい雰囲気になりました。その後、各チームの先生方にご協力頂き、教材アラカルトとして、様々な教科の教材や掲示物などを屋台形式で紹介しました。今年度は、算数・数学、

国語、図工、保健室、食育、学級通信の六つのコーナーを準備しました。参加者が各教科等のコーナーでそれぞれの教材について熱心に質問している姿も見られました。後半は、ベテランの先生方も交え



て若い先生方の悩みや質問に答える時間も取りました。「教材研究の時間が足りない。納得いくまで準備をしようとする」と、どうしても時間外勤務が増えてしまふ等の悩み、「分かる分かかる。」と共感の声も。参加者からは、「算数の様々な教具やゲームを知ることができ、さっそく自分の授業でも取り入れてみたいな」と思いました。「食育コーナーの子どもたちの給食の感想メモを見て、普段なか

な話することができない調理員さんにも私たちの声を届けることができるので良いなと思いました。自分の学校の栄養教諭さんにも相談して、やってみたいです」などの感想が寄せられました。様々な実

### 高知市・キックオフ集会

4月5日土曜日に高知城ホールでキックオフ交流会を行いました。全体で8名ほどの参加でした。まず自己紹介をして学級開きについて話し合いました。学級開きで大事にしたいことや最初の1週間でのんごを子どもたちに伝えたいのか意見を交流しました。

その後、それぞれが不安に感じていることや聞いてみたいことを出し合い、みんなでどうすればいいか考えて話し合いました。悩みや不安を出し合うことで自分と同じような悩みを多くの人が持っていることに気づき、少し安心したという声もありました。第2回のキックオフ交流会は4月27日曜日に行いました。参加者は少なかったですが、新学期から1か月経って感じていることを話し合ったり一緒に教材研究をしたりして有意義な会にすることができました。それぞれの職場で大変なこともありますが、子どもに寄り添い、ともに学ぶ大切さが語られ、参加者でそのことを共有することができました。

践に触れられるこの企画を通して、若い先生方がサークルの先生方とつながり、その後も継続してサークルへ参加するきっかけにもなっています。今後の各専門部の学習会にもつながっていきたくです。

### 臨時教員のみなさんへお知らせ

#### 明日を拓く連続講座 二次面接対策講座

採用審査(二次審査)の中に、面接があります。その練習をしませんか。無料です。本番前の貴重な機会、ぜひどうぞ。

- 日時 7月19日(土) 午後1時から
- 場所 高知城ホール(受付 1Fロビー)
- 内容 面接練習(模擬面接)
- 持参物 願書、自己評価書の写し

★事前申し込みが必要です。県教組へ 右のQRコードからメールでどうぞ。→

締切 7月11日(金) 定員がありますので、お早めに!

詳細は、  
高知県教組HPか  
今回同送のチラシを!



# 学校現場の願いを解決する改正を！

国会では、教職調整額を引き上げる給特法の「改正」審議が、衆議院で可決後、

参議院で続いています(6月6日現在、この通信をみなさんがお読みになる時に

は成立している可能性あり)。  
しかし、この「改正」は、左の談話が

指摘する通り、様々な問題がある上に、現場の課題解決にはつながりません。  
長時間過密労働をなくすためには、持ち時数の上限を設定する・教職員定数を

増やす・教育的な対策こそ必要です。要求実現を目指して、高知県教組では、全国連帯の中で、これから取り組んでいきます。

2025年5月14日

【談話】このままでは長時間過密労働は解消できない！

給特法等改定案の衆議院通過に抗議し、参議院における廃案と抜本的修正のために全力をつくそう  
全日本教職員組合(全教)  
書記長 金井 裕子

5月14日、衆議院文部科学委員会において、政府の「公立の義務教育諸学校等における教育職員の給与等に関する特別措置法(以下、給特法)」をはじめ、学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下、地教法)、教育公務員特例法(以下、教特法)等の一部を改定する給特法等改定案が一部修正され、可決されました。

4月10日の本会議で審議入りして以来、全教は、政府の給特法等改定案の廃案を求め、本会議や委員会の傍聴行動や国会前集会、議員要請やFAX要請などの国会議員への働きかけ、各地の教育現場から当事者が声を上げる「4.16全国一斉定時アクション」、街頭宣伝や記者会見をおこない、その問題性を広く社会的にアピールしてきました。

2月7日、改定法案を閣議決定した段階では、処遇改善を理由に早期成立を求める声があったにもかかわらず、文部科学委員会の審議は2回に及ぶ参考人の意見陳述や委員外議員発言等を経て、1か月を超えました。その中で、教職調整額増額の一方で、特別支援教育にかかわる「給料の調整額」が半減され、さらに一律全員に支給されている義務特手当を削減し、学級担任に加算するという「メリハリ」ある賃金制度導入、しかも学級担任手当は特別支援学校や学級の担任は対象外などの問題点も明らかになりました。

修正案に「教育職員1人当たりの担当授業時数の削減」や、標準法に規定する「教職員定数の標準を改定すること」が明記されたことは、「せんせい ふやそう」を強く訴えてきた私たちの運動とつながるものです。基礎定数改善と持ち授業数の上限設定、教育予算増などの具体的な措置を求めます。

しかし、修正案は、密室での協議という過程も、その不十分な内容も容認できるものではありません。そもそも「平均時間外在校等時間」を「月30時間程度」に削減することも、公立中学での「35人学級」の実現も、昨年末の「大臣合意」にもとづいて政府が掲げていた目標です。なにより、給特法第5条・第6条が、公立学校の教員に対しては原則として時間外勤務を命じないとしているにもかかわらず、「月30時間」の時間外勤務を容認し、超勤手当は支払わないとすることは、明らかな労働基準法違反であり、給特法の根本的矛盾です。委員会審議で「時間外在校等時間は労基法上の労働時間ではない」とする文科省の答弁と、厚労省ガイドラインが「明示的・黙示的指示により労働者が業務を行う時間は労働時間」であり、「就業を命じられた業務に必要な準備行為」や「業務に必要な学習等を行っていた時間」も「労働時間」と規定していることの矛盾が審議の俎上に載りながらも、修正案には何ら反映されていません。

今後、審議の場は参議院に移ります。この改定案では長時間過密労働は決して解消できません。「働かせ放題」の続行は決して許されません。教職員の基礎定数を増やすことなく、時間外勤務時間の縮減を現場任せにするならば、時短ハラスメントの横行や持ち帰り仕事は常態化します。

時間外勤務手当支給を可能とするしくみを設けること、まやかしの処遇改善のままでは終わらせないこと、そして、衆議院では十分な議論がされなかった、職場を分断する「主務教諭」の創設の問題点について徹底審議を求めるたたかいが引き続き重要です。修正案で示された定数改善と持ち授業数の削減も、現在の予算措置を抜本的に変えなければ実現できません。

全教は、長時間過密労働解消とすべての教職員の処遇改善のため、参議院において給特法等改定案の廃案および抜本的な修正をめざし、声を上げ、いっそう全力をつくす決意です。

以上

## 教職員のための自動車保険は



# 全教自動車保険

### 教職員と家族を守って35年

WEBでかんたん  
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を→

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

## あなたの学校でも

### 夏休みのどこかの日に

### 美味しいものを食べながら

### 息抜きタイムを計画しませんか？

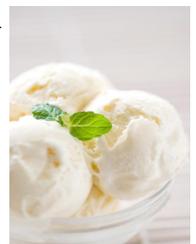
高知県教職員共済会が、「共済カフェ」でお手伝いします。

お弁当やアイスクリームを食べながら、全教共済の説明(30分程度)を聞いて下さい。参加費無料です。

★詳しくは、今回同送のチラシか、

高知県教組HPをご覧ください。

★気軽にお問い合わせください！



高知県内の四国88カ所霊場巡り③

1	2	3	4
5		6	
7			8
9		10	
11		12	
		13	

- 7. オープンレックの略
- 9. ゴルフ用語。首位とは300の2位。
- 10. 水泳で背泳ぎのスタート方式の一つ。一時期、大流行。
- 11. 字を書くときの筆の動かし方
- 13. ともかく現場は人が不足！人員○○を！

7. お書きください④  
 職場名⑤ 職場の話  
 か教育通信の感想、  
 を書いてメールまたは  
 葉書で送って下さい。  
 締切は7月25日  
 (金)。3名の方に  
 図書カードを進呈。  
 ⑤は紙上で紹介させて  
 いただくことができます。  
 【4月号の当選者】  
 「青龍(しょうりゅう  
 寺)」でした。抽  
 選の結果、次の3名  
 の方が当選されました。  
 おめでとうござ  
 います。

榊山雅子さん  
 (窪川高校)  
 マーモットさん  
 (北高校)  
 さんさんさん  
 (第四小)

【タテのカギ】  
 1. 上から下ろして  
 くる○○○○○○  
 の教育施策反対！  
 2. 薄い塩酸。  
 3. 自民党の裏金問  
 題で、この○○○  
 ○○○を始めた経  
 緯は未解明。責任  
 者出てこい！  
 4. 九条、下仁田、

白、青と言えは  
 8. ○○○菩薩。  
 12. ピカチュウのセ  
 リフ、○○！  
 【横のカギ】  
 1. 6月10日は○○  
 ○○○○日  
 5. くつつきワード  
 ま○○、き○○ん、  
 ○○○をつく  
 6. next、日本語で

かぎを解いて二重  
 枠に入る5文字で、  
 高知県内にある四国  
 88カ所霊場のお寺の  
 名前(○○寺、解答  
 には寺をつけてね)  
 を作って下さい。①  
 解答② 郵便番号・住  
 所③氏名(匿名希望の  
 方はペンネーム可、  
 ただし本名は忘れず

【みなさんの声より】  
 ○中山間地域の高校  
 は、生徒確保が難し  
 い。どうしたら良い  
 のか…。



○新学期が始まって、  
 バタバタしておりま  
 す。二年目ですが、  
 去年とは違った忙し  
 さや大変さがあり、  
 日々懸命に勤めてい  
 ます。異動されてき  
 た先生方が多く、全  
 体として落ち着くの  
 は、夏休み前になり  
 そうな感じですが。早  
 く、夏休みになって  
 ほしいですね。  
 ○校長職退職後再雇  
 用され、さまざまな  
 肩書きで複数の方々  
 が時々学校を訪れま  
 す。不定期に短時間  
 訪問されても、どの  
 ような効果があるの  
 かと、申し訳ないで  
 すが未だに疑問に思  
 うこともあります。  
 同時に現場で子ども  
 達のために必死に頑  
 張る60歳超え教員の  
 賃金カットを思うと、  
 何だかやる気も萎え  
 気味です。  
 ○今年のクロスワー  
 ドのテーマは四国88  
 カ所霊場巡り、いつ  
 か行ってみたいいな  
 ーと思っていたので、  
 いろいろなお寺を紹  
 介していただきました  
 です。  
 ○昨年度現任校に赴

任して、初めて春の  
 運動会を経験しまし  
 た。入学したばかり  
 の1年生は、赤白自  
 体が混乱し、並ぶだ  
 けでカオス。整列で  
 全校の基準となるの  
 はハードルが高かつ  
 たけれど、可愛い姿  
 を振りまいて多少の  
 ことは笑って許して  
 もらいました。学校  
 生活に慣れつつ運動  
 会の準備を進めるの  
 は正直大変でしたが、  
 本番では子ども達自  
 ら円陣を組んで一致  
 団結し、成長した姿  
 を見せてくれました。  
 1年生には負担が大  
 きい部分もあります  
 が、春は気候が良く、  
 練習にはぴったりで  
 す。  
 ○5月に入り、水泳  
 指導に関する研修や  
 地教委からの細かい  
 指導マニュアル等の  
 提出要請が続いてい  
 ます。中でも水深に  
 ついての規定は現場  
 の対応が難しいと感  
 じます。排水して水  
 位を下げることは短  
 時間でできます。し  
 かし、注水して水位  
 を上げることは数時  
 間でできるものでは

ありません。そんな  
 らとオーバーフロー  
 させて水面付近の汚  
 れを効率的に除去す  
 ることが難しくなり  
 ます。ろ過装置は、  
 従来はタイマーセッ  
 トによる日中だけの  
 稼働だったものを24  
 時間稼働による水質  
 の維持に期待します。  
 以前、床可動式のプ  
 ールに勤務していたと  
 きは、そのありがた  
 さに感動しました。  
 せめて、底に沈める  
 備品を教育委員会に  
 購入してもらいたい  
 ものです。何より、  
 水に不安を感じてい  
 る児童に、浮くこと、  
 呼吸することを小プ  
 ール時代から楽しく身  
 に付けさせる指導法  
 を先生たちが習得し  
 ておくべきだと思  
 います。かつて学校体  
 育研究同志会が中心  
 となって、ドル平泳  
 法を普及させようと  
 頑張っていた時のよ  
 うに。

メールはこちら

